

BCG接種のお知らせ[説明書]

1 BCG接種の必要性

BCGは結核を予防するために接種するワクチンです。結核はわが国の主要な感染症の一つで、毎年新たに2万人近くの患者が発生しており、世界的にみても日本は結核の中まん延国という状況にあります。

結核の発生は人口密度の高い大都市で多い傾向にあり、大人から子どもへ感染することも少なくありません。結核の予防には感染前にBCGワクチンを接種することが非常に重要です。BCGワクチンを接種することで免疫ができ、結核にかかりにくくなります。

2 接種後の副反応など

BCGは70年以上に渡り、世界中で安全に使用されてきたワクチンです。リンパ節の腫れや局所・全身の皮膚症状などの比較的軽度な局所反応は一定の頻度で見られますが、骨炎や全身性のBCG感染症、アナフィラキシーなどの重大な副反応の報告は稀です。

接種後10日～4週頃に、接種した部位が赤く腫れたり、膿んだりします。その後かさぶたができていきますが、通常2～3か月でなおります。これはBCG接種により免疫がついたために起こる反応で、正常な反応です。

接種後3か月を過ぎても治らないような場合は医師にご相談ください。副反応としては、まれにわきの下にしこりができることがあります。自然になおりますが、症状の改善がみられない場合は早めに医師の診察を受けてください。

・コッホ現象

BCG接種の針あとは、通常は接種後10日前後たないと膨らんできません。しかし、ごくまれに接種後約3日以内で、接種部位が赤くなる、腫れる、膿むといった反応を起こすことがあります。このような反応をコッホ現象といいます。

お子さんにコッホ現象がみられた場合は、接種医療機関にお問い合わせください。(集団接種の場合は複十字病院健康管理センター:042-491-4712)コッホ現象自体は有害な反応ではなく、救急外来を受診するような緊急性はありません。土日祝日の場合は週明けにご連絡ください。ご不明な点がありましたら、小平市健康推進課にご相談ください。

3 対象者 小平市に住所を有する 生後1歳に至るまでの子

標準的な接種期間:生後5か月から8か月に至るまで

※ 対象期限を過ぎると公費負担を受けることができず、費用は自己負担となります。

※ 小平市より転出された方は、当市の予診票での接種はできません。

転入先の市区町村で予診票をお受け取りください。

4 接種方法 スタンプ方式で上腕の2か所に押し付けて接種します。

5 持ち物 BCG予防接種予診票、母子健康手帳

「BCG予防接種予診票」はお子さんの接種時の体調などを確認するために必要です。かならず接種前に必要事項を記入して提出してください。

6 会場 小平市健康センター

7 日程 別紙「BCG日程表」のとおり (日程をご確認ください。)

8 費用 無料

9 次の項目に該当する子は接種を受けられません。

- (1) 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある子。
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子。
- (3) 接種しようとするワクチンの成分で、アナフィラキシー(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)をおこしたことのある子。
- (4) 免疫機能に異常のある疾患を有する子および免疫抑制をきたす治療を受けている子。
- (5) 結核にかかったことがある子。
- (6) 外傷等によるケロイドの認められる子。
- (7) その他、医師の判断により予防接種を行うことが不適当な状態にある子。

10 次の項目に該当する子は接種の際、医師と相談してください。

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患を有することが明らかな子。
- (2) 予防接種で2日以内に発熱のみられた子、又は全身性発疹などのアレルギーを疑う症状をおこしたことがある子。
- (3) 過去にけいれんの既往のある子。
- (4) 過去に免疫不全と診断されたことがある子および近親者に先天性免疫不全症の者がいる子。
- (5) 接種しようとするワクチンの成分で、アレルギーをおこすおそれのある子。
- (6) 過去に結核患者との長期の接種がある子、その他結核感染の疑いのある子。

11 接種前の注意

- (1) 接種の際、保護者等のサインが必要です。この通知やパンフレット「予防接種と子どもの健康」などをよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは接種を受ける前に医師に質問をしましょう。
- (2) 接種前日は入浴(又はシャワー)をさせ、体を清潔にしましょう。
- (3) 当日は朝からお子さんの状態を良く観察し、ふだんと変わらないことを確認してください。もし体調が悪ければ接種を避けた方がよいでしょう。
- (4) 清潔な着衣をつけさせましょう。
- (5) 接種は保護者同伴で接種しましょう。
- (6) 予診票は医師の大切な情報源になります。責任を持って記入するようにしましょう。
- (7) 副腎皮質ステロイド剤の軟膏、プロトピック軟膏、その他保湿クリーム等を使用中の方は、前日の入浴後は両腕の肩からひじにかけて塗らないでください。

12 接種後の注意

- (1) 接種後30分間は安静を保ち、様子を観察するようにしましょう。
- (2) 接種後生ワクチンでは2～3週間、不活化ワクチンでは24時間は副反応が現れる場合があります。お子さんの状態を良く観察し、万一、高熱やおう吐など異常な副反応がでた時は、早めに接種医の診察を受けてください。その場合は、小平市健康推進課に連絡してください。
- (3) 入浴は差し支えありませんが、注射部位をこすらないようにしましょう。
- (4) 接種当日は、激しい運動は避けるようにしましょう。
- (5) 副腎皮質ステロイド剤の軟膏、プロトピック軟膏、その他保湿クリーム等は、接種部位には接種後3カ月程度塗らないでください。

13 予防接種健康被害救済制度

予防接種により、万一、健康被害が生じた場合、その健康被害が予防接種によるものと認定された場合には、予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度が適用されます。

<予防接種の間隔>

- (1) 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンを接種した日から、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンの予防接種(同一種類のワクチンを接種する場合において、接種の間隔に関する定めがある場合は、その定めるところによる。)を行うまでの間隔は、27日以上おくこと。
- (2) 2種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行う同時接種(混合ワクチンを使用する場合を除く。)は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができる。

問合せ 小平市健康推進課 〒187-0043 小平市学園東町1-19-12 (小平市健康センター内)
TEL:042-346-3700 FAX:042-346-3705